

今市事件 公判始まる



傍聴券を求める人で混雑する宇都宮地裁＝29日午前8時40分

勝又被告「殺してません」 検察「客観的事実が多数」

裁判員裁判 白白の信用性焦点

2005年、日光市(旧今市市)大沢小1年だった吉田有希(よしだゆき)ちゃん(当時7)が殺害された今市事件で、殺人罪に問われた鹿沼市西沢町、無職勝又拓哉(かつまたたくや)被告(33)の裁判員裁判初公判が29日午前、宇都宮地裁(松原里美裁判長)で始まり、勝又被告は「殺してません。(殺害現場に)行ってません」などと起訴内容を全面的に否認した。被告が捜査段階で有希ちゃん殺害を自白した内容について、検察側は「信用できる」などと指摘した。

起訴状によると、勝又被告は05年12月2日午前4時ごろ、茨城県常陸大宮市の林道で、有希ちゃんの胸をナイフで多数回刺し、失血死させた、とされる。被告は捜査機関に対し、有希ちゃんの連れ去りやわいせつ行為、殺害、遺体の遺棄を自白したとされ、自白の信用性、任意性が大きな争点となる。

検察側は、被告が拉致現場付近で目撃された不審車両と同色、同型の車を使っていたことや有希ちゃんに付着していた猫の毛が被告の飼っていた猫の毛と矛盾しないことなどを挙げ、「被告人と犯人を結びつける客観的事実が多数存在する」などと主張した。

一方、弁護側は「猫の毛の鑑定は科学的に実証されていない」などと指摘。「自白が客観的事実と矛盾し犯人しか知り得ない秘密の暴露もないのは、勝又さんが犯人ではないからだ」などと真つ向から反論した。

公判は、3月22日の論告求刑で結審し、31日に判決が言い渡される予定。16日間にわたる期日は、県内の裁判員裁判で最長となる。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2016

読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売 028-625-1120(販売)
事業局 028-625-1134(事業・教育)
営業局 028-625-1133(広告)

PC・スマホ・携帯でも
下野新聞 検索

下野新聞社ホームページ
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯で、スマホで栃木のニュースを!!
下野新聞
SOON
月額
250円+税
下野新聞 検索